cobas®

この電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品　　2024年12月作成（第1版）

製造販売届出番号：15E1X00001000038

コバス® システムーG

血液検査用免疫グロブリンMキット

ＩｇＭ－ＴＩＡ　ＮＸ「生研」

【全般的な注意】

１．本品は，体外診断用であり，それ以外の目的に使用しないでください。
２．診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断してください。
３．電子化された添付文書以外の使用方法については，測定値の信頼性を保証致しません。
４．使用する機器の電子化された添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用してください。

【形状・構造等（キットの構成）】

Ｒ１：緩衝液
Ｒ２：抗血清
　　抗ヒトＩｇＭポリクローナル抗体（ヤギ）[1)]
（Ｒ１：ポジションＢ，Ｒ２：ポジションＣ）

【使用目的】

血清又は血漿中の免疫グロブリンＭ（ＩｇＭ）の測定

【測定原理】

抗血清と試料を反応させると，試料中のＩｇＭと抗血清中の抗ヒトＩｇＭポリクローナル抗体（ヤギ）が抗原抗体反応を起こし，抗原抗体複合物による凝集が生じます。この凝集反応は，試料中のＩｇＭ濃度に応じた吸光度変化を与えますので，既知濃度の標準を用いて作成した検量線から試料中のＩｇＭ濃度を求めます[2)~4)]。

【操作上の注意】

１．測定試料の性質・採取法
　(1) 検体は，血清又は血漿を使用します。
　(2) 血清を採取する場合は，血液が完全に凝固した後遠心分離してください。
　(3) 血漿を採取する場合は，抗凝固剤としてヘパリン，ＥＤＴＡ又はクエン酸ナトリウムを使用してください。
　(4) 採取後の検体は速やかに測定してください。
　(5) 採血管によっては正確な値が得られない場合があります。あらかじめ影響のないことを確認の上使用してください。
２．妨害物質・妨害薬剤
　アスコルビン酸は50mg/dL，ヘモグロビンは500mg/dL，ビリルビンは20mg/dL，乳びはイントラリピッド5%までは，測定値に影響は見られませんでした。
３．その他
　本試薬はコバス pro 又はコバス pure などに適用できます。

【用法・用量（操作方法）】

１．試薬の調製方法
　各構成試薬はそのまま使用します。
　標 準 液：コバス マルチ標準液 ＮＸ（別売）を用います。
２．試薬の安定性
　未開封時：2～10℃で使用期限まで安定
３．別途必要な器具・器材・試薬
　・コバス pro 又はコバス pure など
　・コバス マルチ標準液 ＮＸ
　・イムノキューセラＩ-（Ｌ）「生研」ＲＤ
　・イムノキューセラＩ-（Ｈ）「生研」ＲＤ
　・コバス システムーＧ ＮＡＣＬ
　使用方法は，各製品の添付文書及び取扱説明書を参照してください。
４．操作方法
　自動分析装置の操作法に従って，販売元指定のパラメータを用いて測定を行います。
　（測定条件の例）

試 料	:	1.2μL
Ｒ１	:	120μL
Ｒ２	:	20μL
主波長	:	340nm
副波長	:	700nm

　自動分析装置では，指定のパラメータに従い試料及びR1，R2が自動的に採取され，反応管内に順次加えられます。
　反応管内で生じた反応は吸光度で測定されます。あらかじめ作成された検量線と指定の演算法により吸光度から測定値が算出されます。
　販売元指定のパラメータについては問い合わせ先まで請求してください。
５．精度管理
　精度管理にはイムノキューセラＩ-（Ｌ）「生研」ＲＤ（別売）及びイムノキューセラＩ-（Ｈ）「生研」ＲＤ（別売）を使用してください。

【測定結果の判定法】

１．測定結果の判定及び参考基準範囲
　各検査施設で基準範囲を設定することが推奨されます。
　一般的な参考基準範囲として，以下の文献報告があります。
　参考基準範囲[2)]　　57～288mg/dL
２．結果の判定にかかる注意
　(1) 検体によっては，まれに目的成分以外との反応や反応の妨害等により正しい結果が得られない場合があります。測定結果に疑問がある場合は，再検査や希釈試験により確認してください。
　(2) 非常に濃度の高い検体の場合，試薬性能の測定範囲の上限を超えることがあります。その際は，検体を適宜生理食塩液で希釈した後，再度測定してください。
　(3) ＩｇＭ濃度1,500mg/dLを超える検体の場合，プロゾーン現象により測定範囲内の数値を算出することがあります。

【性能】

１．性能
　(1) 感度試験
　　①生理食塩液を試料として操作した場合の吸光度は，0.100Abs.以下です。
　　②ＩｇＭ濃度170mg/dLの管理用検体を試料として操作した場合の吸光度は，生理食塩液での吸光度を差し引いたとき，0.100～0.500Abs.の範囲内です。
　(2) 正確性試験
　　既知濃度の管理用試料を測定するとき，既知濃度の±10%以内です。
　(3) 同時再現性試験
　　管理用試料を20回同時に測定するとき，その変動係数（ＣＶ）値は，5.0%以下です。
　(4) 測定範囲
　　測定範囲は，1.4～600mg/dLです。
　　ただし，測定上限は標準液のロットにより多少異なります。
２．較正用の基準物質
　ＩＦＣＣ血漿蛋白国際標準品（ＩＲＭＭ）

【使用上又は取扱い上の注意】

１．取扱い上（危険防止）の注意

(1) 試料（検体）はＨＩＶ，ＨＢＶ，ＨＣＶ等の感染の恐れがあるものとして取扱ってください。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋，マスクなどを着用し，また口によるピペッティングを行わないでください。

(2) 本品には，アジ化ナトリウムが含まれておりますので，誤って目や口に入ったり皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い，必要があれば医師の手当て等を受けてください。

２．使用上の注意

(1) 本品は，記載された操作法に従って使用してください。記載された操作法及び使用目的以外での使用については，測定値の信頼性を保証致しかねます。

(2) 自動分析装置に使用する場合，使用の前に当該自動分析装置の取扱説明書を熟読し，詳細は下記の問い合わせ先までお問い合わせください。また，自動分析装置は使用前に洗浄するなど，十分に調整してください。
なお，測定条件（パラメータ）の詳細については下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

(3) 本品は，指定された条件で保管し，使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

(4) 凍結した試薬は使用しないでください。

(5) ロット番号の異なる試薬を組み合わせて使用しないでください。
また，同一ロット番号の試薬であっても試薬を注ぎ足すことは行わないでください。

(6) 試薬カセット内の試薬ボトルの組合せを変えないでください。

(7) ＲＦＩＤをぬらしたり，強く押さないでください。

(8) 開封後の試薬については汚染等に注意し，十分な精度管理のもとで使用してください。なお，管理用試料の値が精度管理範囲を超えた場合は，検量線を作成し直す等の処置を行ってください。

(9) 本品を保存する際は，垂直の状態で保存してください。

(10) 本品の試薬カセットは再使用できません。

(11) 試薬中に濁りや沈殿が認められた場合，ろ過や遠心分離により濁りや沈殿を取り除いた後使用してください。

３．廃棄上の注意

(1) 試料（検体），使用済みの容器及び検査に使用したすべての器具類は，次のいずれかの方法で滅菌処理を行ってください。
①最終濃度3.5vol％グルタルアルデヒド溶液に，30分間以上浸漬する。
②0.5w/v％次亜塩素酸ナトリウム溶液（有効塩素5,000ppm）に，1時間以上浸漬する。
③121℃で，20分間以上高圧蒸気滅菌をする。

(2) 本品は，アジ化ナトリウムを0.1％以下で含んでいます。アジ化ナトリウムは，鉛や銅と反応して爆発性のある重金属アジ化物を生成することがありますので，大量の水とともに廃棄してください。

(3) 試薬及び器具等を廃棄する場合には，廃棄物の処理及び清掃に関する法律，水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。

【貯蔵方法・有効期間】

１．貯蔵方法

2～10℃に保存

２．有効期間

12箇月
外箱，ラベルに表示の使用期限内に使用してください。

【包装単位】

コバス システムーＧ　ＩｇＭ-ＴＩＡ ＮＸ「生研」　300テスト

Ｒ１：緩衝液	36.0mL
Ｒ２：抗血清	6.0mL

【主要文献】

1) Becker W.:Determination of antisera titres using the single radial immunodiffusion method,Immunochem.,6,539(1969).
2) 東　孝典ら：免疫グロブリンＭ（ＩｇＭ），日本臨牀，753,13(1999).
3) Ritchie RF,et al.:Automated quantitation of proteins in serum and other biologic fluids,Amer.J.Clin.Path.,59,151(1973).
4) Killingsworth LM,et al.:Automated immunochemical procedures for measurement of immunoglobulins IgG,IgA,and IgM in human serum,Clin.Chem.,17(9),936(1971).

【問い合わせ先】

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
カスタマーソリューションセンター
〒108-0075　東京都港区港南1-2-70
フリーダイヤル：0120-600-152

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】

デンカ株式会社
〒959-1695　新潟県五泉市木越字鏡田１３５９番地１
TEL：0250-43-4111（代表）

COBAS is a trademark of Roche.
コバスは Roche の商標です。

製造販売元
デンカ株式会社
新潟県五泉市木越字鏡田１３５９番地１

販売元
Roche